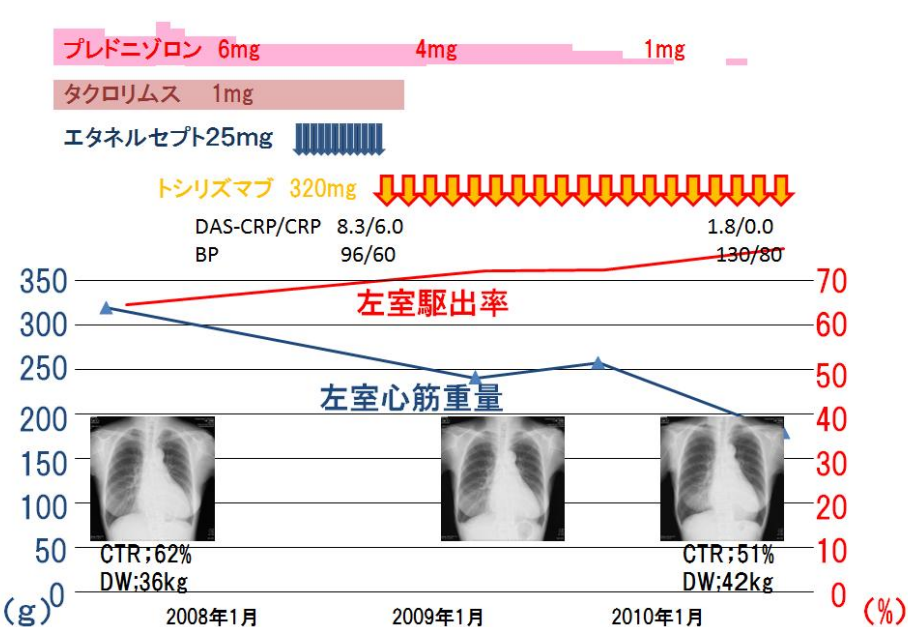


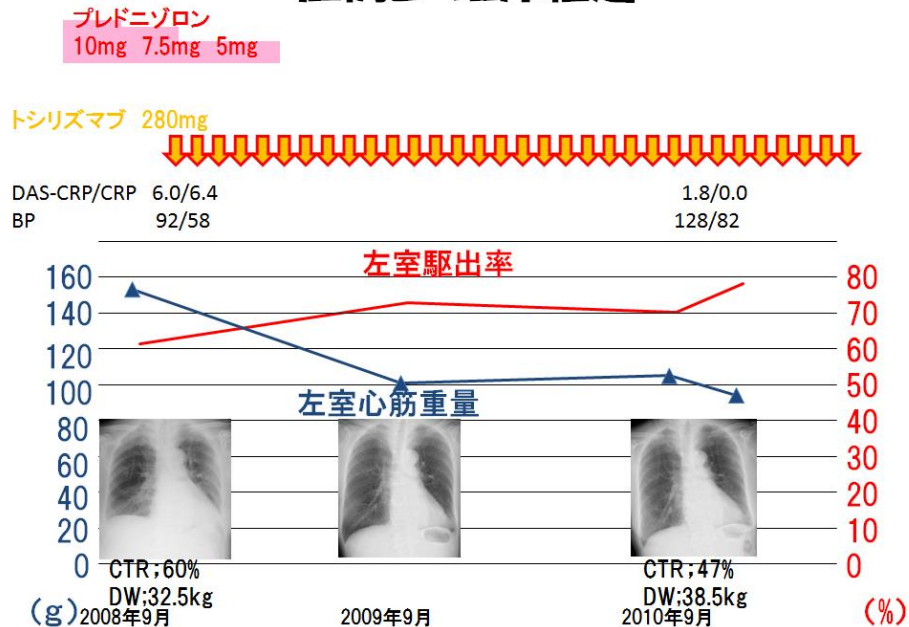
心臓病変を認めたAAアミロイドーシス合併関節リウマチの透析困難症に対しトシリズマブが著効した2症例

虎の門病院腎センター: 服部 吉成, 乳原 善文, 高市 憲明

症例1 臨床経過



症例2 臨床経過



- 症例1: 56歳女性。1992年関節リウマチを発症し、腸管生検でAAアミロイドが証明されており2004年から血液透析を継続している。
- 症例2: 67歳女性。1989年関節リウマチを発症し、腸管生検でAAアミロイドが証明されており2008年から血液透析を継続している。
- 2症例ともに関節リウマチに対しトシリズマブを使用後1-2年で疾患活動性の改善にともない、心エコーで心筋壁肥厚の改善を認め計算で求めた左室心筋重量、左室駆出率の上昇および血圧の上昇を認めた。
- 心筋におけるアミロイド沈着を直接には証明していないが、トシリズマブが心筋でのアミロイド沈着の軽減に寄与したことが推測される。